

大学は、 進化する。

目覚め、関しはじめた、知の共同体。

現代の大学教育の意味を自問自答しながら
懸命の改革を進めてきた大学が、今、
人を大きく成長させる知の共同体として目覚め始めています。
この存在意義をさらに社会に発揮していくために、
大事にすべき考え方とは、方法とは。
壁を打破してきた改革、実践の事例、
生まれてきた変化、新たに見出された課題を共有しながら、
改革を次のフェーズに進める足場を
確かなものとするシンポジウムを開催します。

武蔵野大学FDシンポジウム

「大学知におけるアクティブラーニング」

日時：平成27年3月11日(水)13:00~16:50

会場：武蔵野大学有明キャンパス 3号館3階

主催：武蔵野大学 教養教育リサーチセンター



武蔵野大学
MUSASHINO UNIVERSITY

武蔵野大学FDシンポジウム

「大学知におけるアクティブラーニング」

大学教育は社会で役に立たないと言われるような時代が日本では続いてきました。このことに危機感を感じていた武蔵野大学は、他大学に先駆けて教育改革に力を入れ、毎年、発展をとげてきました。平成22年度からスタートさせた全学共通基礎教育課程「武蔵野BASIS」はその象徴です。学生一人ひとりの根幹を育む教養教育の課程を進化させてきた取り組みを検証し、改革をさらに高次化する足場を固めていくため、本シンポジウムを企画しました。(武蔵野大学 教養教育リサーチセンター)

[虹の7themes 科目群“VIBGYOR”]

武蔵野大学の全学共通基礎教育課程「武蔵野BASIS」の「基礎セルフディベロップメント科目」は、哲学、現代学、数理学、世界文学、社会学、地球学、歴史学の各7分野を学びます。それぞれにViolet, Indigo, Blue, Green, Yellow, Orange, Redという虹の7色をシンボルカラーとし、頭文字をとって“VIBGYOR”と呼んできました。7分野の知を融合した学生たちは、学習の進行に比例し、上昇スパイラルのごとく新たな知を創造していきます。

日時：平成27年3月11日(水)13:00～16:50

会場：武蔵野大学有明キャンパス 3号館3階

東京都江東区有明3-3-3

交通：りんかい線「国際展示場駅」徒歩7分・ゆりかもめ「国際展示場正門前」徒歩6分

主催：武蔵野大学 教養教育リサーチセンター

参加費：無料(事前申込制)

参加申込・お問い合わせ：武蔵野大学 就職・キャリア開発課

TEL. 03-5530-7350 E-mail: career@musashino-u.ac.jp

第一部 シンポジウム 13:00～16:50

[基調講演]

大学知におけるアクティブラーニング

森本あんり氏(国際基督教大学 学務副学長)

[事例発表]

中村 剛(武蔵野大学 教養教育部会 講師)

積田 淳史(武蔵野大学 経済学部 講師)

[パネルディスカッション]

森本 あんり氏(国際基督教大学 学務副学長)

竹内 利明氏(電気通信大学 情報理工学部 特任教授)

中村 孝文(武蔵野大学 副学長)

進行：石上 和敬(武蔵野大学 教養教育部会 教授)

※14時46分から1分間、東日本大震災で亡くなられた方に対し、黙祷を捧げます。

第二部 情報交流会17:00～18:30

会場：ホテルトラスティ東京ベイ [参加費：3000円]



武蔵野大学
MUSASHINO UNIVERSITY